

わたしたちの活動



ブレストケア・ピンクリボンキャンペーン in 広島

過去の活動（2009年）

2009年10月18日 「未来を啓くみんなのがん予防展&がん講演会」開催

講演会テーマ「若い女性に急増する子宮頸がん」

講師：河野美代子さん（河野産婦人科クリニック院長）

パネルディスカッション・テーマ「知っておきたいがんの知識」

コーディネーター：中原恭子さん（女性クリニックラポール院長）

河野美代子さん（河野産婦人科クリニック）

百木義光さん（広島県西部保健所広島支所専門員）

場所：安田リョウ記念講堂（広島市中区白島北町）



がん予防と早期発見を考える2days、“ピンクリボンd eサンフレッチェ”に続く2日目は、広島ビッグアーチから安田リョウ記念講堂に場所を移し、講演会とパネルディスカッション、そしてがん予防展を行ないました。

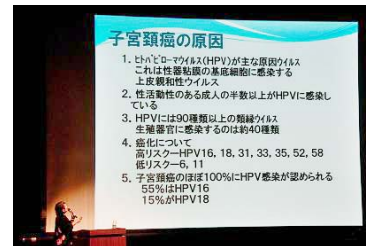
若い女性に緊急に必要なとなった「子宮頸がんの知識」を学んでほしいための今回の企画です。

ロビーではがん予防展があり、パネル展示やがん予防チェック、乳がん自己検診コーナーなど、体験と情報を伝えるコーナーが設けられました。



午前中は、安田女子大学生が企画、運営したステージで、学生グループのライブや広島東洋カープのブラウン元監督によるビデオメッセージなどがありました。また、産婦人科医師による医療相談も受け付けました。新甲さなえ女性クリニック院長・新甲さなえ先生、瀬戸産婦人科院長・瀬戸真理子先生が、プライバシー厳守の個室で相談に応じました。「聞いてみたかったことを気軽に聞けました。なかなか受診までは…。今日は来て良かったです！」という20代女性の声もありました。

講演会では、女性の健康と命に真正面から取り組んでおられる河野美代子先生（河野産婦人科クリニック院長）が、「若い女性に急増する子宮頸がん」と題し、わかりやすく現在（いま）の問題を若い女性たちへ伝えてくださいました。子宮頸がんが増えているのはなぜ？どう対応できるのか？ ワクチンが認可されることの意味は？ また、早期発見で治癒する子宮がんの日本女性の検診率の低さ、とりわけ高齢女性の検診の低さなど、多くの問題を示唆されました。



続くパネルディスカッションでは、「知っておきたいがんの知識」をテーマに中原恭子先生（女性クリニックラポール院長）、河野美代子先生（河野産婦人科クリニック）、百木義光先生（広島県西部保健所広島支所専門員）をコーディネーターに迎えました。

中原先生は、事前に女子大学生230人を対象にアンケートを実施。若い人に急増していることを

を知らない人が多く、ワクチン認可もニュースになったばかりですが、ほとんどの人が知らないという結果が出ています。百木先生からは、広島県の乳がんへの取り組みについてもお話いただき、私たちに役立つ本当の知識を得ることができる、絶好の機会となりました。

その後は、安田大学学生の企画によるジブリのメロディを繋いだ心癒すピアノ演奏、そしてビンゴ大会です。今日一日をねざらい明日への活力となるように、がんについて学びながら豪華景品が当たる特製のビンゴを、学生たちが披露しました。



2009年10月17日 第3回 「ピンクリボンdeサンフレッチェ」開催

場所：広島ビッグアーチ（広島市安佐南区）（現 エディオンスタジアム広島）

第3回目の開催となる“ピンクリボンdeサンフレッチェ”がビッグアーチで行なわれました。今回は2日間に渡るキャンペーンで、1日目はビッグアーチでの開催、2日目は安田リョウ記念講堂（広島市中区白島北町）で他団体とともにがん予防展を同時に開催しました。多くの人々へ、がんに対する知識と情報を提供し、みんなが健康について考える良い機会となりました。

試合前には安田大学学生と子どもたちが、選手たちのサインやメッセージの入った横断幕を持って、元気に乳がん早期発見をアピールしました。



パソコンを使ったがん予防チェック、自転車をこぎながらがんについて学び、消費カロリーをみるなど、体験型のブースがずらりと並びました。

広島市保健師さんによる自己検診の指導、看護師さんによる血圧、体脂肪測定による指導、栄養士さんによる栄養相談と食事指導、また、臨床検査技師さんによるがん細胞をみてみようコーナーや、大腸がん早期発見の活動をすすめるNPO団体の啓発ブースなど、盛りだくさんの内容で、多くの人たちで賑わいました。



美しいピンク色のマンモグラフィ検診車が2台登場し、事前に申込んだ約100名の方に、乳がんマンモグラフィ検診を受けていただきました。



学生の企画によるクイズラリーは、乳がんについて学べて、空くじなしの豪華景品がいっぱい！ テントには長い列ができました。そしてサンフレッチェ選手の協力により、サイン入りボールやサイン入りユニフォーム、観戦チケットなどが

大当たり！！ がらがらを回して次々に歓声が上がりました。

☆協賛企業、団体の皆さま、ご協力に感謝します。

- | | |
|----------------|------------------|
| ・株式会社サンフレッチェ広島 | ・国際ソロプチミスト広島-もみじ |
| ・カルビー株式会社 | ・株式会社モルテン |
| ・JOIN広島 | ・アストラゼネカ株式会社 |
| ・新庄みそ株式会社 | ・大塚製薬株式会社 |
| ・女性クリニックラポール | |

2009年6月25日 第一タクシー「走るピンクリボンバス」に協力

（ピンクリボンキャンペーン in 広島実行委員会共催事業）



「走るピンクリボンバス」には、実行委員会オリジナルのピンクリボンステッカー（マグネット式）を貼付し、車内にはキャンデー入りの乳がん早期発見啓発リーフレットを常備。ドライバーの皆さんは、お客様にピンクリボンの意味をアピールし、乳がん検診の大切さを伝えていただきます。

ピンクリボンキャンペーンin広島実行委員会は、乳がん早期発見活動の一環として、安佐南区の第一タクシーの取り組みに共催しました。

美しくなだらかなりボンが描かれたバスがお目見え。広島国際学院大学の学生がデザインしました。6月25日の出発式では実行委員会メンバーも参加、報道関係者もたくさん来られて賑わいました。

女性ドライバーが運転する「なでこタクシー」



2009年6月21日 第3回 「ピンクリボンdeカーブ」開催

場所：MAZDA Zoom-Zoomスタジアム広島（広島市南区南蟹屋）

新球場で初めてのピンクリボンキャンペーンが開催されました。選手たちは左袖にピンクリボンを着けて試合に臨み、乳がんの早期発見をアピールしました。
朝から雨が降り、天候が心配されたこの日、徐々に雨も上がって予定どおり開幕！
始球式では、乳がん体験者25名の応募者の中から抽選で選ばれたK. Iさんが投球。看護師のK. Iさんは、患者さんたちを励ま



したいと、ご主人と娘さんの見守る中、勇気を持って元気に始球式に臨みました。

また5回裏には安田大学、安田短期大学学生の企画によるパフォーマンス。乳がんの学習を経て元気を伝えるパフォーマンスを実施しました。

スタジアム周囲の催しでは、この日のためにカーブ球場に特別に用意していただいたピンク色のテントがひときわ目をひきます。受付では、協賛会社カルビーの



お菓子、イズミよりカーブ坊やのポケットティッシュ、おなじみのピンクリボンタオルをプレゼント。グッズ売り場では長蛇の列ができ、カーブコラボ女の子Tシャツは1時間ほどで売り切れました。この日限定のカーブ仕様幸せ人形も300個が完売。そして3台のマンモグラフィ検診車とエコー検診車1台が登場。厚生労働省のエコー検診比較調査への協力をしました。約150人、そのうち40歳代の約20人の方がエコー検診も併用してのマンモグラフィ検診を無料で受けていただきました。



触診モデルを使っの自己検診コーナーでは、女性の医師、看護師の指導により自己検診の仕方を学びました。乳がん年齢の女性だけでなく、若い人やカップルも興味を持って、熱心に体験をしていました。

ボランティアは過去最高の230人。学生から熟年世代まで、チームワーク良く楽しくキャンペーンを創り上げました。皆さん、お疲れ様でした。

☆ご協賛くださった企業、団体の皆さま、ご支援に感謝いたします。

・株式会社広島東洋カーブ

・カルビー株式会社

・JOIN広島

・新庄みそ株式会社

・株式会社サンモール

・桃谷順天館グループ

・女性クリニックラポール

・株式会社大洋薬品ウェスト

・アイビー眼科

・株式会社三國屋

・田中眼科医院

・井植産婦人科

・沖永真奈恵

・荒谷医院

・株式会社大田铸造所

・株式会社玉樹広島オフィス

・佐々木整形外科クリニック

・佐々木外科・整形外科

・NPO法人キャリアネット広島

・株式会社NTTドコモ中国支社

・株式会社イズミ

・株式会社栗本五十市商店

・株式会社大野石油店



2009年6月19日 安田女子大学でブラウン監督と乳がん体験者のおはなし
場所：安田女子大学（広島市安佐南区）



6月21日の“ピンクリボンdeカーブ”に先駆けて、広島東洋カーブのブラウン監督（当時）が安田大学にやってきました。プライベートでご家族と一緒に訪れたブラウン監督は「校内を散策したり、学生たちと気さくに交流しました。とてもきれいなキャンパス!」と感想を述べられました。

学生たちが企画した乳がん学習会に

やってきたブラウン監督は、21日のピンクリボンdeカーブに127人の学生たちがボランティアを行うことを、大いに激励してくれました。

ブラウン監督は「がんは誰でもなり得る病気で、自分の父もがん、娘の祖母もがんだった。がんは本人だけでなく周りの人も大変。すべてのがんの早期発見を望みます」と話され、「今日は自分もボランティアで来ました。いろんな方法で乳がん早期発見のためのボランティアができる。皆さんも21日は頑張ってください」と学生たちに応援のメッセージを贈りました。続いて乳がん体験者の話しでは、7年前に再発した経過や「つらい抗がん剤治療に苦しむ自分の姿を家族に見せるのがかわいそうだった」など自身の経験話し、それでも今こうして元気に生活していること、がんを恐れず、早期発見が大切であることを話しました。また、「皆さんはせっかくボランティアで乳がんに関わっているのだから、今日家に帰ったら、お母さんに『マンモグラフィ検診を受けてね』と伝えてください」と世代を超えた乳がん早期発見の重要性を説きました。学生たちは、とても熱心にお話を聞いていました。



2009年4月16日 「さくらパンダ前線キャンペーン ～余命一ヶ月の花嫁～乳がん検診キャラバン」に協力
場所：基町クレドふれあい広場（広島市中区）

乳がんと闘い、短い生涯を閉じられた長島千恵さん（享年24歳）が訴えた「若い人でも乳がんになることを知って欲しい」という彼女の遺志を引き継ぎ2008年からスタートしました、20～30代の女性が低料金で乳がん検診を受けられる「余命1ヶ月の花嫁・乳がん検診キャラバン」の「千恵さん号」が広島市中区の基町クレドふれあい広場やってきました。乳がん早期発見を願って日本全国28箇所を駆け巡ります。



乳がん早期発見を願って日本全国28箇所を駆け巡ります。

当ピンクリボン広島実行委員会は、このキャンペーンに協力し、看護師さんによる触診モデルを使っている体験や、DVDで自己検診の仕方など放映しました。美しいマンモグラフィ検診車「千恵さん号」は、乳がん早期発見を願い、沖縄から北海道まで約2ヶ月かけて走ります。この日、基町クレドでは、若い人たちが男性も女性も関心をもって真剣にパネルやビデオを見入っていました。検診車では、事前に申し込みをされた20～30代の女性たち約100人が受診しました。

ボランティアでキャラバンに同行していらっしゃいます千恵さんの恋人・太郎さんは「広島でピンクリボン運動をするときは協力します!」と心強いコメントをくださいました。この検診キャラバンを日本全国29箇所で開催。検診車「千恵さん号」は沖縄から北海道までを約2ヶ月かけて回ります。千恵さんがかわいがっていたぬいぐるみ「さくらパンダ」にちなみ、さらに検診車が北上していく動きを「桜前線」に見立てて、このプロジェクトを「さくらパンダ前線キャンペーン」と命名。乳がん早期発見のため、「千恵さん号」が全国を駆け巡ります。



2009年3月28日 第3回 ランチョンセミナー開催

テーマ：「食べて癒す～愛情溢れるケアとは～」

基調講演 講師：東口高志さん（藤田保健衛生大学医学部 外科・緩和医療学講座教授）

場所：リーガロイヤルホテル広島 4Fロイヤルホール（広島市中区）



ランチョンセミナーは、乳がん患者さんを中心に楽しく食事をしながら健康を願う催しで、第1回目の2005年8月には治療中、病後のケアで重要な食事の問題について、2回目の2007年2月ではオプティミズム（楽観主義）とQOL（生活の質）の関係など、メンタルケアについて学びました。今回3回目となるランチョンセミナーは、患者さん

のQOLを高める栄養管理の療法の実践についての講演会です。

講師の東口先生は、医療には二つの愛情が必要だとおっしゃいます。一つは患者さんが日々感じていることを大切に思い、その方を抱きしめるような愛情、もう一つは実際にきちんとした医療を責任を持って提供する愛情です。先生のお仕事の間である緩和医療病棟では、医師、看護師、薬剤師、管理栄養士など、医療に携わるスタッフが担当領域の壁を取り払ったチーム医療によって、全人的なケアが実践されています。東口先生は「きちんと栄養をとれば体力が回復し、自ら食えることが生きる気力にもつながる。QOLの改善や、延命につながると同時に、医療の質も上げることができる」とその実践のために、NST（Nutrition Support Team：栄養サポートチーム）を日本で普及しようと、先頭に立ってきました。

講演の後、乳がん患者さんやその家族と健康を願う人たち約200名が「広島の野菜で彩る和のランチ」で一同に会しました。おいしい食事をいただきながら、東口先生のお話に触発されて、考えを深め合う良い機会となりました。この日のために献立を考え、何度も打合せを重ねていただいたリーガロイヤルホテル総料理長の佐伯斉さん、広島県栄養士会の藤井葉子さんのお話もありました。



ロビーでは東口先生の著書の販売もありましたが、先生のサインをいただけることもあったか、あっというまに完売。JAグループ広島からご提供のお宝トマト、きぬさやなど新鮮採れたて野菜も、すぐになくなりました。

また、参加者全員に、新庄みそさんから原料にこだわった白みそをおみやげにいただきました。そしてピンクリボングッズを購入された方にもれなく、キューピードレッシングとカルビー・フルーツグラノーラのプレゼント。グッズの売上金は、ピンクリボンキャンペーンの活動費に活用させていただきます。



☆協賛企業、団体の皆さま、ご協力に感謝します。

・JAグループ広島

・株式会社大塚製薬工場

・カルビー株式会社

・株式会社栗本五十市商店

・キューピー株式会社

・新庄みそ株式会社

2009年3月1日 「女性の健康週間公開講座」開催

（ピンクリボンキャンペーンin広島実行委員会共催事業）

テーマ：「健やかに、美しく。女性のライフサイクルと健康」

主催：広島県産婦人科医会、日本産婦人科学会広島地方分会

場所：紙屋町シャレオ・中央広場（広島市中区基町）



ホルモンの波に漂う女性の生涯。大きな波は、思春期、妊娠、更年期にやってきます。女性の健康週間の始めに、産婦人科医による健康相談、公開講座が行われました。会場では、妊婦検診、避妊、STD予防、子宮がん検診、乳がん検診、更年期障害など、ブースがあり、女性の健康を支える産婦人科者さんたちが、気さくに相談に応じてくれました。日曜日のこの日、紙屋町シャレオ中央広場は、若い人たちがカップル、家族連れの人たちで賑わい、多くの人たちが「女性の健康」を考え、体験し、有意義なひとときを過ごされたことでしょう。

ピンクリボンキャンペーンin広島実行委員会は、この活動の主旨に賛同し、共催しました。ピンクリボンコーナーでは、DVD放映による情報提供のほか、啓発チラシの配布、触診体験を受け持ちました。20歳を過ぎたらプレストケア！若い人も興味を持って熱心に体験されていました。



2009年2月21日 「Weプラザ20周年」開催(ピンクリボンキャンペーンin広島実行委員会協力事業)

主催：広島県産婦人科医会、日本産婦人科学会広島地方部会
場所：広島市女性教育センターWeプラザ(広島市中区大手町)



Weプラザ女性団体・グループ連絡会20周年記念行事が中区鷹野橋の女性教育センターWeプラザで行われました。広島市中区タカノ橋商店街(中区大手町)の入り口に、マンモグラフィ検診車と子宮がん検診車が登場し、事前に申し込みをされた方々が、検診を受けられました。

この日館内は、各女性団体の活動紹介や、展示などで賑わい、4階では、乳がん自己検診コーナーも設けられました。ピンクリボン実行委員会では、この活動に協力し、ポスター

の掲示、チラシの配布、協賛グッズの販売などを行いました。翌22日は市民ふれあいフェスティバルとして場所を中区アステールプラザへ移し、音楽や踊り、講演会などがありました。また、広島市副市長(当時)の豊田麻子さん、広島平和文化センター理事長のスティーブン・リーパーさんとで座談会が開催され、多くの人で賑わいました。

2009年1月16日 第2回 「ピンクリボンde広響」開催

演奏：広島交響楽団(ピアノ：三浦友里枝さん)
場所：広島厚生年金会館(広島市中区加古町)(現 広島市文化交流会館)

広島厚生年金会館(現 広島市文化交流会館)において、第2回目の“ピンクリボンde広響”を開催しました。

1,700人の観客でいっぱいの会場に、秋山和慶氏のタクトで広島交響楽団2009年の定期演奏会がスタート。リストのピアノ協奏曲第一番では、ピアニストの三浦友里枝さんが登場し、華麗な音色で



会場を魅了しました。譜面台にはピンクリボン実行委員会のメンバーが手作りしたピンクリボンが飾られ、楽団員も一緒になって、乳がんの早期発見をアピールしました。また、マンモグラフィ検診車が厚生年金会館前に駆けつけ、事前に申し込まれた方12名に無料で検診をプレゼント(協力：広島県集団検診協会)。

開演前のマンモグラフィ検診の受付では「コンサートに来たついでに気軽に検診を受けることができました。次はどこで受けられますか?」と質問するお客様も。

販売コーナーでは、広島アンデルセンさんご協賛のクッキーにピンクリボンバッヂを添えて販売。この日一日で完売しました。売上はピンクリボン活動に活用させていただきます。

☆協賛企業、団体の皆さま、ご協力に感謝します。

- ・公益社団法人ひろしま交響楽協会
- ・カルビー株式会社
- ・JOIN広島
- ・新庄みそ株式会社
- ・富士フイルムメディカル株式会社
- ・株式会社アンデルセン

